

抗議中の競技の記入例 ① 競技終了時 (これにコピーする)

期 日 年 月 日 ( 曜 ) 開始時刻 : 終了時刻 :

陸協名 コード 競技会名 (注) 便宜上、必要な欄のみ記入しほか コード

主催団体名 競技場名 コード

審判長  
J T O  
記録主任  
記録担当審判員 R

PV 支柱移動	試技順	ナンバー	競技者名(生年)	都道府県 所属・学年	試 技													最高記録	無効 試技数	順位	得点	備考
					2m01	2m03	2m05	2m07	2m09	2m11	2m13	2m15	m	m	m	m						
	1		A		0	0	X0	XX0	XXX									207	3	8		
	2		B		0	X0	XX0	X0	XXX									207	4	7		
	3		C		-	X0	X0	X0	XX0	X0	0	XXX						213	6	1		
	4		D		X0	XX0	XX0	0	XXX									207	5	6		
	5		E		-	-	0	X0	X0	XX0	XXX							211	4	5		
	6	123	F		-	XX0	XX0	0	XX0	X0	XXX							211	7	3		2m07 1回目よりP
	7		G		0	0	XX0	X0	XX0	X0	XXX							211	6	2		
	8		H		0	X0	X0	XX0	XXX									207	4			
	9		I		0	X0	XX0	XX0	XX0	X0	XXX							211	8	4		
	10																					
	11																					
	12																					
	13																					
	14																					
	15																					
	16																					
	17																					
	18																					
	19																					
	20																					

審判長記入欄

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(有効試技...O、無効試技...X、失格...DQ、欠場...DNS、パス...一、試技放棄...r、記録なし...NM)  
 注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)  
 注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05) 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は H1~3 (High school)、中学生は J1~3 (Junior high school)で記入する。  
 注5: TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には( )をつけ、備考欄にPを記入する(例: 2m00の2回目に抗議があった場合は「2m00の3回目よりP」)。  
 競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。  
 記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。

(男・女) (走高跳・棒高跳 予選・決勝) (組) 記録表

P

抗議中の競技の記入例 ② 裁定の結果、有効試技となつた場合の記入例 (コピーしたものに赤字で記入)

期日 年 月 日 (曜) 開始時刻 終了時刻

陸協名 コード 競技会名 (注) 便宜上、必要な欄のみ記入し、ほか コード

主催団体名 競技場名 コード

審判長 Z  
J T O 赤字サイン  
記録主任 X  
記録担当審判員 R

PV 支柱移動	試技順	ナンバー	競技者名 (生年)	都道府県 所属・学年	試技										最高記録	無効 試技数	順位	得点	備考		
					2m01	2m03	2m05	2m07	2m09	2m11	2m13	2m15	m	m						m	m
	1		A		0	0	X0	XX0	XXX									207	3	8	
	2		B		0	X0	XX0	X0	XXX									207	4	7	
	3		C		-	X0	X0	X0	XX0	X0	0	XXX						213	6	1	
	4		D		X0	XX0	XX0	0	XXX									207	5	6	
	5		E		-	-	0	X0	X0	XX0	XXX							211	4	5	
	6	123	F	赤字訂正	-	XX0	XX0	X0	XX0	X0	XXX							211	7	3	2m07 1回目よりP
	7		G		0	0	XX0	X0	XX0	X0	XXX							211	6	2	
	8		H		0	X0	X0	XX0	XXX									207	4		
	9		I		0	X0	XX0	XX0	XX0	X0	XXX							211	8	4	
	10																				
	11																				
	12																				
	13																				
	14																				
	15																				
	16																				
	17																				
	18																				
	19																				
	20																				

審判長記入欄 123 F 2m05 (3回目) を有効試技とする ← 赤字で記入

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(有効試技...O、無効試技...X、失格...DQ、欠場...DNS、パス...一、試技放棄...r、記録なし...NM)  
 注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)  
 注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05) 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は H1~3 (High school)、中学生は J1~3 (junior high school) で記入する。  
 注5: TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には( )をつけ、備考欄にPを記入する(例: 2m00の2回目に抗議があった場合は「2m00の3回目よりP」)。  
 競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。  
 記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。

(男・女) (走高跳・棒高跳 予選・決勝) (組) 記録表

P

抗議中の競技の記入例 ③ 裁定の結果、無効試技となった場合の記入例 (コピーにも赤字で記入)

期日 年 月 日 (曜) 開始時刻 : 終了時刻 :

陸協名 コード 競技会名 (注) 便宜上、必要な欄のみ記入し、ほか コード

主催団体名 競技場名 コード

審判長 Z  
J T O 赤字サイン  
記録主任 X  
記録担当審判員 R

PV 支柱移動	試技順	ナンバー	競技者名 (生年)	都道府県 所属・学年	試技										最高記録	無効 試技数	順位	得点	備考			
					2m01	2m03	2m05	2m07	2m09	2m11	2m13	2m15	m	m						m	m	
	1		A		0	0	X0	XX0	XXX									207	3	78		
	2		B		0	X0	XX0	X0	XXX									207	4	67		
	3		C		-	X0	X0	X0	XX0	X0	0	XXX						213	6	1		
	4		D		X0	XX0	XX0	0	XXX									207	5	55		
	5		E		-	-	0	X0	X0	XX0	XXX							211	4	45		
	6	123	F		-	XX0	XX0	<del>X0</del>	<del>XX0</del>	<del>XXX</del>								<del>203</del>	<del>211</del>	<del>27</del>	93	2m07 1回目よりP
	7		G		0	0	XX0	X0	XX0	XXX								211	6	2		
	8		H		0	X0	X0	XX0	XXX									207	4	8		
	9		I		0	X0	XX0	XX0	XX0	XXX								211	8	34		
	10																					
	11																					
	12																					
	13																					
	14																					
	15																					
	16																					
	17																					
	18																					
	19																					
	20																					

赤字で訂正

審判長記入欄 123 F 2m05 (3回目) を無効試技とし、記録及び順位の訂正をした ← 赤字で記入

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(有効試技...O、無効試技...X、失格...DQ、欠場...DNS、パス...-、試技放棄...r、記録なし...NM)  
 注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)  
 注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05) 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は H1~3 (High school)、中学生は J1~3 (Junior high school) で記入する。  
 注5: TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には( )をつけ、備考欄にPを記入する(例: 2m00の2回目に抗議があった場合は「2m00の3回目よりP」)。  
 競技終了後、記録担当が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。  
 記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。